

授業概要

科目名		理学療法総合演習Ⅱ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(2単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
臨床で必須の解剖学、生理学等の基礎を振り返り、疾患との関係性を学ぶ。									
実習で学ぶ内容の予習と、実習で取り組む課題について学ぶ。									
〔授業全体の内容の概要〕									
基礎科目の課題を行い、疾患に必要な基礎知識を深める。									
実習に必要な気構え・心構えを学ぶ。また、実習で積極的に学ぶ姿勢を演習を通して身につける。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
基礎的な知識が説明できるようになる。									
基礎知識と各対象疾患の繋がりについて説明できるようになる。									
実習に臨む前の心構えを得ることができる。									
回数	講義内容								
1	情意教育								
2	〃								
3	学習習慣の促し① ～アドバンスのレクチャー～								
4	学習習慣の促し② ～基礎知識の見直し～								
5	〃								
6	〃								
7	〃								
8	学習習慣の促し③ ～基礎知識と理学療法思考の行い方～								
9	〃								
10	〃								
11	疾患と基礎のつながり ～運動器疾患（大腿骨頸部骨折）の症例～								
12	〃								
13	〃								
14	〃								
15	疾患と基礎のつながり ～中枢神経疾患（脳血管疾患）の症例～								
16	〃								
17	〃								
18	〃								
19	疾患と基礎のつながり ～内部疾患（糖尿病）の症例～								
20	〃								
21	〃								
22	〃								
23	基礎知識振り返り ～スチューデントティーチャー実践～								
24	〃								
25	実習前教育① ～実習の心得、課題の取り組み方、実習前演習～								
26	〃								
27	〃								
28	〃								
29	実習前教育② ～記録の取り方～								
30	〃								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
病気がみえる vol.7 脳・神経							メディックメディア		
標準理学療法学・作業療法学 生理学							医学書院		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験で評価する									